

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課 (内線 : 7 2 4 0)

1 目 企画総務費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取県・江原道・沿海地方による青少年交流事業	4,407	0	4,407				4,407	
トータルコスト	8, 4 4 1 千円 (前年度 : 0 千円) [正職員 : 0. 5 人]							
主な業務内容	事業の企画・立案、江原道・沿海地方政府及び関係部署等との連絡 調整、資料の翻訳、交流事業を行う民間団体の支援、受入時の随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援 北東アジア地方政府サミットのフレームを活用した研究・検討や事業実施							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>2009 年 7 月に開設された境港～東海～ウラジオストクの航路も 2010 年 7 月で就航 1 周年を迎えることとなり、「北東アジア大交流時代」に向けて、鳥取県と友好交流関係にある韓国江原道、ロシア沿海地方との幅広い分野における活発な交流が期待されている。</p> <p>このような状況の中で、三地域の国際理解、国際交流を促進し、環日本海航路の利用促進につなげることを目的として、次世代を担う青少年交流事業を三地域（鳥取県、江原道、沿海地方）連携のもと実施する。</p> <p>また、次世代を担う青少年交流について三地域の連携した事業実施の枠組みを検討すべく、行政担当者等による交流協議を同時開催する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 4, 4 0 7 千円								
(2) 事業内容								
ア 三地域連携の交流活動								
<p>ア) 期 間 7 月の 3 ～ 4 日程度 (於 : 鳥取県)</p> <p>イ) 対 象 鳥取県・江原道・沿海地方の青少年 (各地域 1 2 名程度)</p> <p>ウ) 交流分野 (候補) 環境、スポーツ交流など三地域にとってメリットがありかつ連携可能性のある分野について三地域協議の上決定</p> <p>エ) 内 容 交流活動・交流試合などの開催、交流記念式典、交流紹介パネル展の実施</p>								
イ 青少年交流行政担当者による交流協議								
<p>ア) 期 間 7 月の 3 ～ 4 日程度 (三地域連携の交流活動と同時期)</p> <p>イ) 対 象 鳥取県・江原道・沿海地方の青少年交流担当官等 (各地域 3 名程度)</p> <p>ウ) 協議内容 (案) 三地域連携による青少年交流の枠組み作り、次期開催地、交流内容等</p>								
3 これまでの取組状況 (2006 年以降)、改善点								
(1) 鳥取県と沿海地方の主な青少年交流事業 :								
○剣道交流 ロシア・サハリン州の剣道連盟の鳥取県訪問 (2006 年 9 月)								
鳥取県剣道青少年代表団 (米子松蔭高校) をロシア沿海地方に派遣 (2009 年 7 月)								
○バドミントン交流 鳥取県バドミントン協会青少年交流団の派遣 (2007 年 7 月、2009 年 9 月)								
○柔道交流 極東柔道代表団 (29 名) が鳥取県を訪問 (2010 年 1 月)								
(2) 鳥取県と江原道の主な青少年交流事業 :								
○鳥取県・江原道親善スポーツ大会 (2001 年から毎年実施。)								
【これまでの競技種目】剣道、柔道、バドミントン、フェンシング、カヌー、アーチェリー、卓球、レスリング、バレーボール、ソフトテニス								
○柔道交流 鳥取県江原道青少年親善柔道大会訪問団が江原道を訪問 (2006 年 8 月)								
(3) 改善点								
今まで二地域間で展開していた交流事業等を、三地域間による連携事業として効果的に運営、実施する。								